

# 戦争の時代 2024年の世界

東京大学名誉教授 藤原 帰一



- \* 膠着状態が続く2つの戦争
- \* 無視された区別原則、均衡原則
- \* 対中重視で米日韓の軍事連携が成立
- \* 中国、北朝鮮は好戦的な主体ではない
- \* ここへきて復権する権力政治
- \* 壊れた国際政治の経済的リベラリズム
- \* 変化する状況と国内政治の関係
- \* 中国の台湾侵攻の優先順位は低い
- \* 米国に歩み寄った中国の事情
- \* 石橋湛山を学び直す時

**山縣** それでは開会いたします。（拍手）皆様、今年もどうぞよろしくお願いたします。今年の第1回は藤原先生に来ていただいていますけれども、実は2017年の1月から毎年最初に国際情勢の展望を先生にしていたのであります。今年は、皆さんのお手元のレジユメのタイトルが「戦争の時代」になっておりまして、私もこのレジユメを見まして、ついにタイトルが「戦争の時代」になってしまったのかなという気持ちがありました。

日本は、元旦の大きな地震もありまして、天災との闘いが大変なわけですから、人の引き起こすような戦争とはかく避けていかなければならないという状況にあると思いますけれども、ハマスのことがありましたし、ウクライナのこ

ともありましたし、いろんなことが起きていて、限られた時間の中で全部お話しただけかどうか、なかなか難しいと思いますけれども、全体のマクロの情勢をご展望いただいで、われわれが今どういう状況にあるかということを通じて、くり考える礎にさせていただきたいと思っております。

（拍手） それでは先生、よろしくお願いたします。

## 膠着状態が続く2つの戦争

**藤原** 皆様、明けておめでとうございませう。藤原帰一でございます。ご紹介をいただきましたように、2017年から年初にお話をする機会をいただきました。いつも楽しみに